

# 沼田市の新型コロナウイルス対策の補正予算を専決

国の第2次補正予算が成立したことともない沼田市では、新たな新型コロナウイルス感染症対策として6億9,383万円の補正予算を7月20日に専決処分しました。

新たな事業、継続される事業など予算措置された事業をお知らせします。

## 【生活支援】

- ・生活福祉資金貸付制度利用世帯のうち総合支援資金借入世帯に対し10万円を支給
- ・国のひとり親世帯臨時特別給付金に1世帯5万円、第2子以降1人につき1万円を市が上乘せ支給
- ・出産応援給付金事業（新生児1人10万円支給）を来年3月まで延長

## 【医療、福祉、子育て事業従事者支援及び事業者支援】

- ・国の支援制度の対象外となる保育従事者、学童保育従事者に5万円を支給
- ・医療従事者、介護施設従事者に対し国の慰労金に市がそれぞれ3万円追加し支給
- ・保育施設、学童施設へのコロナ対応支援
- ・修学旅行キャンセル料支援

※他の事業については、次号でお知らせします。



## 神社神輿がトラックで氏子町内を巡行

今年の沼田まつりは、新型コロナウイルスの関係で中止となり、3日には須賀神社神輿、榛名神社神輿がトラックに乗り、それぞれの氏子町内を巡行しました。

須賀神社の氏子町では、お囃子で神輿を出迎え、須賀神社では5日まで神輿が飾れていました。



## 続ぶらり散歩 めまた道 利根町あれこれ 特別編その七十四

### 栗原川

栗原川は、皇海山の懐を源とする不動沢にエンマ沢やツバメ沢などが合流し、円覚の滝の下流から栗原川となります。



栗原川は、利根川水系片品川の支流の一級河川で、片品川との合流近くの栗原橋近くの河畔には桜が約60本植えられており、4月下旬ごろに見ごろをむかえます。

足尾銅山に坑木や炭、薪などを送るため、明治時代から昭和14年（1939）まで栗原川上流の源公平、円覚、砥沢などには多くの人々が住み、一つの集落を形成していました。

この時代は、追貝から栗原川に沿って道があり、集落が結ばれていましたが、今ではその道もどこにあるかわからない状況ですが、昭和28年（1953）から30年をかけ追貝と根利をむすぶ栗原川林道が栗原川の絶壁につくられ、皇海山の登山口までの道としても利用されていました。

※栗原林道は現在、通行止めになっています。

### 根利の稻荷様

稻荷様は、五穀、養蚕を司る神、商業の神として祀られ、利根沼田の家々に石宮を見ることができます。



根利の家々にも稻荷様が祀られていますが、子どもが疱瘡になり治ったら稻荷様に七色菓子をお供えしたり、子どもの神様ともいわれたなど、他にはない信仰があったようです。

## 障害者生活支援センター「はーもにー」が完成しました

上原町に建設がすすめられていた障害者生活支援センター「はーもにー」が完成し、7月29日と30日に内覧会が開かれました。



「はーもにー」は、障がいのある人が食事や入浴などのサービスを受けながら一日をすごしたり、短期入所ができる施設です。

## 「2020年豪雨災害救援募金」へのご協力をお願いします

お問い合わせ等は、下記のところへご連絡ください。

日本共産党利根沼田地区委員会 電話 23-151

2020年8月9日

NO. 664

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

**やまびこ**

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料